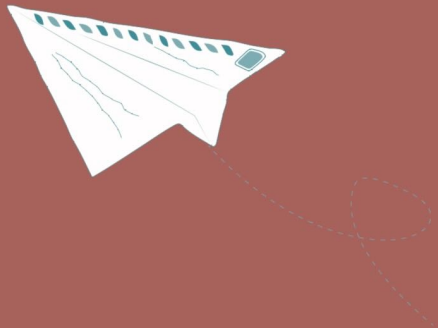


2019 SUMMER

新たなわくわくとドキドキに出会う

# Magadipita vol.7

時空を超えたメッセージ。



Magadipita  
vol.7 2019 SUMMER





TABLE  
OF  
CONTENTS

---

00	プロローグ
02	選ぶを考える
<hr/>	
「選ぶ」をみつめる	
05	ミライの覗き穴
11	選ぶを表す その1
13	ちょっとひと手間
19	選ぶを表す その2
20	わたしだけのお気に入り
<hr/>	
「選ぶ」をひろげる	
27	知らなかった好きと出会う
33	あなたとわたしのいただきます
39	わたしと、だれかと、みんなで。
46	選ぶを表す その3
47	選ぶを考える
48	Editor's Note

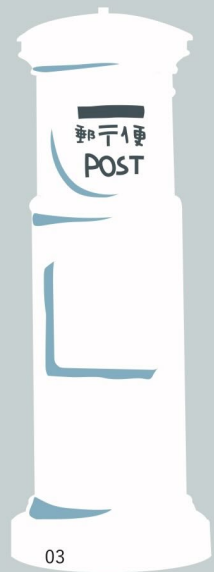
**Magadipita**  
=Magazine × Serendipity

serendipityとは、  
素敵な偶然に出会ったり、  
予想外のものを発見すること。  
あなたと Magadipita との偶然の出会いが、  
予想外の発見につながりますように。

今回のテーマは「時空を超えたメッセージ」

新しい時代のはじまり、東京オリンピックの開催。  
激しく変わっていく時代は、  
どこか自分とは違うところで流れているようで、  
変わらなきゃいけない、なんて焦る必要はないけれど、  
立ち止まってよく見渡してみると、  
世界は思ったよりも鮮明に見えてくるかも。  
あなたは何をどのように選ぶ？  
それは、いつの時代も、どこにいても、大事なこと。  
「選ぶ」をみつめて、ひろげて、表して。  
「選ぶ」を考えてみよう。





あなたが最後に手紙を  
書いたのはいつですか？



選ぶことを考える

「あれ、駅に向かってたはずなのに…」  
道に迷い、顔を見上げる。  
白いポストが目に入った。

【あなたが最後に手紙を書いたのはいつですか？】

どうやら、10年後の自分宛に手紙を投函できるポストらしい。  
帰り道に見つけたのものにかの縁。せっかくだし、書いてみるか。

帰宅して早々便箋を取り出すと、埃のかぶった匂い。

何を書こう…

…そんな風に最初は迷まなかったけども、

気づくと止まらなくなっていた。

もやもやしていた自分の気持ちも、

文字に起こすと案外素直に伝えられるのかもしれない。

毎日過ごすのに必死な今、振り返ってみた。

私の人生を決めているのは、

選択の瞬間だった。

そう、人生には、選択が付きものだ。

# ミライの 覗き穴

5年後、  
私たちの生活ってどうなってるのかな。  
もしかしたら私たちの想像を超えた。  
革新的な技術が登場してくるのかも。

SF映画には、  
未知なる世界「ミライ」について  
想像するヒントがたくさん。

SF映画を観て、  
ちょっと立ち止まって、  
ミライの行き先を考えてみよう。



## 01 選ぶをみつめる

人生には選択がつきもの。  
だけと選択ってどうやってしてるんだろう。  
まずは自分の「選ぶ」について考えてみよう。

p.5- ミライの覗き穴

p.11 選ぶを表す その1

p.13- ちょっとひと手間

p.19 選ぶを表す その2

p.20- わたしだけのお気に入り

# TOTAL RECALL

トータル

リコール

度重なる化学戦争によって、人の住めない場所がほとんどとなった地球。そんな地球では今や、富裕層の住むシムスターと、主人公ダグラス・クワイエルたちが住む労働者区域だけしか人が住めない。そして、地球と火星の行き来が可能になったことで、お金に余裕のある人は火星へと旅行するようになった。ダグラスも火星へ行くことを夢見るも、お金はない。妻は大反対。

彼はやむを得ず「リコール株式会社」で火星旅行の記憶を補え付けようことに、と思ったら、突然トラブルが発生！謎の着払いが彼に襲いかかってきた。そこには彼の隠された記憶が書き込まれている……？

## 映画の世界では 終わらなかつたモノたち

「トータルリコール」の世界みたいに火星と地球を行き来できる、なんて時代が訪れるのはまだまだ先のことなのかな？

実は、そんな世界が現実になろうとしているんです！アメリカのニューメキシコから2時間の宇宙旅行。費用はおおよそ3000万円もかかるけど、僕らが簡単に宇宙へ行けるようになってきたみたい。もう既に、世界中から予約が殺到。宇宙を夢見る人たちが大勢、予約してるんだって。

私たちが月や火星に旅行できる日も遠くはないのかな。

# マトリックス MATRIX

マトリックス

主人公アンダースンはソフトウェアのプログラマー。しかし、真ではネオという名の天才ハッカー。

日常に違和感を感じながら生活していた彼は、ある日突然、謎の男から「いま生きている世界はコンピューターによって作られた仮想現実だ」と告げられる。やっとのことで、仮想現実から脱出した彼が目にしたのは、分厚い雲に覆われた空。そして機械によってカブセルの中で管理されている人類の姿。人間は、すべて機械の支配の下で生きていたのである。仮想現実の中で瞬間に暮らすか、現実の世界でコンピューターと戦うか……？

## 映画の世界では 終わらなかつたモノたち

仮想の世界を現実の世界に映し出すことで、現実を「拡張」するAR、仮想の世界へ入り込んだかのような体験ができるVRを当たり前のように手にできる今。もしかしら、使ったことのある人もいるんじゃないかな。

今、さらにその先を行く、「MR」っていう技術が開発されていることを知っていますか？専用の機械がなくても仮想世界を体験できる技術のことなんだとか。例えば、パソコンがなくてもパソコンのディスプレイを開くことができちゃうかも。もっと技術が発展すれば、映画「マトリックス」の世界だって実現できる……？

# MINDRITY REPORT

マイノリティ

レポート

2054年のワシントンD.C.。予知能力者である「プリログ」を利用して、犯罪を起こす可能性が高い人を未然に逮捕するシステムを導入。街中に設置されたセンサーが個人を特定する社会。事件が起きていなくても、予測を基に容疑者を捕まえてしまう仕組みに、犯罪予防局に勤める主人公は、ある日突然、プリログの予言によって嫌疑者として追われることになる。容疑を晴らすため、彼は逃走しながらシステムの闇へ近づいていきます。徐々に明らかになる犯罪予知システムの不平等性…。彼の運命はいかに？

## 映画の世界とは 終わらなかつたモノたち

中国政府は、クレジットカードの利用履歴、SNSでの発言履歴などから信用スコアを付ける社会信用システムを導入したんだって。点数が高ければ病院で優遇、低ければ航空券が取れないなんてことも。個人が社会に「監視」される、そこにはプライバシーや人権が脅かされるという負の側面が、便利の裏に隠されたキケンの中にあつて能力が求められる時代になっているのかも。

# ゴタカ GATTACCA

生まれる前の遺伝子操作によって、優秀な人間「適正者」を造ることができる近未来。いつしか親は当たり前のように、子どもの外見や能力をデザインする時代に。一方、遺伝子操作を受けずに生まれてきた人間「神の子」は、勉強・スポーツ・ビジネスなど、あらゆる面で「適正者」に劣ると判断され、差別を受けていた。「神の子」である主人公は、宇宙飛行士になる夢を叶えるため「適正者」にならなければならない。宇宙局・ゴタカに就職することに、同内の疑念の目撃すり抜け、彼は遺伝子の壁を超えることができるのか？

## 映画の世界とは 終わらなかつたモノたち

「デザインズベビー」、実はもうすでに誕生しているんです。それは、中国で生まれたとある双子の女の子。HIV耐性を持つよう、受胎卵が操作されたんだとか。また、マラリアやブング熱のような伝染病が、広がるのを防ぐ、「遺伝子ドライブ」という遺伝子操作の技術も登場。これをメスの蚊に応用すると、人を制したり卵を産んだりできない体に変えられる。簡単に遺伝子を探ることができるようになる時代。倫理観はどう変わっていくんだろう。



122  
共  
ぶ  
を  
表  
す

時代を作ってきた歴史の偉人たり。  
社会に対して疑問を投げかけて、社会を変えてきた。  
「私はこう思う」  
そう言って、自分の選択を周りに表してきた。

16歳のグレタ・トゥーンベリさんは、そうやって自分の選択を周りに伝えたひとり。  
各国の政府が環境問題に対して危機感を持っていないことについて、  
140万人もの人が世界112カ国でデモを起こしました。  
そうやって社会を動かしたのも、まずは自分の疑問を口にしたことから。

大きくても小さくても。  
変化が起こるときって、素敵だと思ったこと、疑問に思ったこと、  
自分の選んだ考えを口に出してからだったりする。

ひとりひとりが声を出しやすくなった今。  
思ったことをただで、いろいろな人に話して、  
その思いがきっと社会を変える一歩になって。

あなたは今、どんな形で何を言いたいですか？



その作品が映し出す想像上の未来。  
それが実現しつつある**現在**。  
これから訪れる「**ミライ**」。

あなたが望むミライと誰かが望むミライは何じとは限らないし、  
そのミライが良い方向に進むかどうかなんて誰もわからない。  
過去に想像した「**未来**」と想像もつかないような「**ミライ**」の間で生きる  
私たちの選択が、その行く先を左右することも。

次から次へと生み出される革新的な技術。  
それらを横目で見て進むうちに**ミライ**は変わっていくみたい。  
「立ち止まって考える」という選択も加えてみては？





人で笑いかえる様子。小粋通リ、ふと構え替るく、穏やかな笑顔が、引き寄せられるように空気が広がってました。

### カフェ

## ロマーノ



「いらっしやい」にこやかに迎えてくださったのは、カフェ・ロマーノのマスター、岡田さん。カウンター裏に隠れてコーヒーを一杯、いただきます。カップを口に近づけると、甘くてどこかフローラルな香りが鼻をくすぐります。ほっと息をついたら、まずは一口。まろやかで深いコクは、フルーツのように異質な風味が口いっぱいに広がります。

ロマーノのもう一つの自慢は、いちこのミルクフィユ。焼きたてのそれを口に運ぶと、はるはると口の巾で遊んでいます。懐かしくて温かい、お母さんの味。ふわふわの生クリームは、コーヒーの風味にぴったりです。「なんでも手作じやない」と、気が済まないんですよ。ロマーノで出しているものは、すべて手作りだそう。手間暇かけてひとつひとつに心を込めるのが、マスターのやり方。そんな彼、ご自身のこだわりについて伺いました。

カフェ・ロマーノ 〒248-0006 鎌倉市磯子区磯子2-5-25



豆を挽く瞬間、一番  
香りが出る

家でコーヒーの楽しみ方についてマスターはこう語ります。「なんにせよ、コーヒーは豆を挽くところから。この瞬間が一番香りが出る。ハンドドリッパーで淹れるなら、豆を細かくしないと香りを発しない。牛乳とガムシロップを入れるのもいいね。砂糖も、実はコーヒーの風味を際立たせてくれるんです。香りも風味も、工夫次第で変数自在。スパイス感、シトラスのような香り、ナッツのような風味。考えようも、にコーヒーのとりこになっちゃいます。」

### 一杯一杯の見た目 にもこだわる



「コーヒーは、ネルドリップで落とすています。布のフィルターを使うんです。落としたりします。あわ立てです。もちろん、コーヒーの表面に浮いた油分をカットできない。味に違いはないけれど、残っている洗剤だと思ってしまうことがあるんじゃないかな。片手に持ったカップを目を落とすと、なるほど、表面がややつつと光っています。深くって染んだ琥珀色。見た目もまた、マスターのこだわりなんです。」

面倒臭いことが  
好き



「同じことをずっと続けているのが、自分のこだわりです。一日に30杯のコーヒーを作るんだとしても、お客さんにとっては、ただの一杯。常に、自分の精一杯を出しています。気持ち込めながら、隠し味、コーヒー豆にお湯を注いでいる時、何を考えているか、わかる？ おいしい？ あれってね、簡単に作るものは、効率がいい。でも、手作りはやっぱり味が違うんですよ。」



### 不利益

つて？

スピードや安定を求めるのが、今の私たちの主流。そんな現代人にとって、チェーン店やコンビニは魅力的。忙しい朝でも、変わらない味を手に入れることができます。機械に頼る、こだわりの持ちっけ何かを作るのって、とても不便が懸念されるけれど、不便だからって手を見つければ、不都合なところが減ります。便利さにも頼らなければ淹れられたコーヒーは、私たちの感性をくすぐります。鼻口、目で味わったコーヒーは、一生に一度だけの私だけの宝物。手間暇かけているからこそ、心がもっている。便利さでも大事だけれど、時には自分自身の感性に素直にならなくて、ものを選んでみませんか。



# 茶店たち

## 澄ます 喫茶

## 研ぎ 性

## を 感



楽しむ喫茶店

レコードを耳に、私だけの一杯を  
 原を聞けると、大音量のクラシック音  
 楽が溢れ出て来ました。目に飛び込ん  
 くるのは、大きな音響機。  
 薄暗い店内に、重み重ねられたレコー  
 ド。目を瞑ると、雄大な音に体が揺られ  
 ます。イヤホンで聴く音楽は、機材と流  
 れ去っていく。でも、この音響機から  
 が感じられるような、  
 コーヒーが滲はれて来ました。店員さ  
 んがアランデーを数滴入れてくれます。  
 お酒がほのかに香り、独特だけれど極し  
 いた。

「僕が学生だった頃の定番を残した  
 い。」それが、マスターの想い。レコー  
 ドは、自身が学生時代に買った集りだも  
 のだそう。アランデーも彼のこだわりです。  
 昔通った喫茶店で、アランデー入りコー  
 ヒーを飲んでいたら、一杯一杯、  
 お客様の目の前でアランデーを入れ、  
 仕上げる。まさに私だけの一杯。レコー  
 ドもコーヒーも、マスターの過去の感性  
 から生まれたものでした。



グイオロン

〒156-0901 東京都目黒区目黒1-25-3



楽しむ喫茶店

できあがるまでを、眺めてみる  
 「正直サイフォンのはやり方はこの昔  
 も同じ。だけど、この店は最後まで残  
 るでしょ、それがいいな」と思っ  
 て。そう話すのは笑顔が素敵なママコ  
 さん。私たちが見慣れないサイフォンで  
 淹れるコーヒー。風邪を予防のため、  
 豆は注文が入ってから挽くんだと。注  
 文してから届までのひととき、コー  
 ヒーがふくんでできあがっていく様子を  
 眺めながら待つのもなかなか素敵。



シャルマン

〒156-0916 東京都目黒区目黒1-25-3



楽しむ喫茶店

香ってくる匂い、堪能する匂い  
 響き渡るジャズの音楽と、コーヒーの  
 匂いが漂うカフェ。目の前で淹れ  
 られているのは、ネルドリップで淹れ  
 たコーヒー。紙よりも手間がかかる、  
 ネルで抽出するよりも香ばしくなるだ  
 とか。

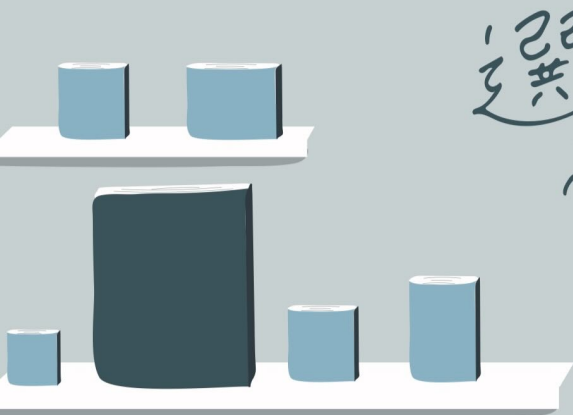
淹ら置かれた2つの容器には、ガラ  
 ニュミ糖とコーヒーシロップ。お好みだ  
 けど、おすめのはコーヒーシロップなん  
 だって、淹れるのに時間がかかるから、  
 時間と一緒に風味が変わっていくのを楽  
 しめるんだとか。タニユミには自家製の  
 プリンやワッペンゼリーも、たくさんこ  
 わたアサートは、甘き糖丸のチョコ  
 ビーも上手に引き立ててくれます。  
 カップに顔を近づけると入ってくる香  
 り、はやく飲みたい！はやる気持ちも  
 ちよつとおさえて、ゆつくりにおいを楽し  
 んでみては？



ミルクホール

〒343-0006 神奈川県藤沢市藤沢1-3-3

アルコーポルソンの機妙な火加減。年  
 季の入った砂糖計で刻む時間。手書きの  
 伝票。昔から変わらない、こわりのつ  
 まった空間でサマソニーコーヒーを  
 味わう。あなただけの感性で私たちがコー  
 ヒーを楽しんでほしい。こ  
 こにはいつだって変わらな、コー  
 ヒーがある。だから、今日の私は昨日の  
 私とは違うし、ちよつとよいことがあ  
 った日と重なった日は味わいも変わるだ  
 ろう。毎日変わる私と毎日変わるコー  
 ヒーの味わいを楽しめるから。



「好き」を表現

自分が作りたいものを作る、自分だけの自由な出版物、「ZINE」。  
写真、小説、詩、絵など…見た目も中身も自分次第。

写真家の木藤不二雄さんが作ったのは『公園道具』。  
日本全国にある公園道具たちを独特な世界観で映し出しています。

公園道具に対する「好き」、  
それがめいばい伝わってくるような、そんな一冊。

ツイッターやインスタグラム。  
今を生きる私たちは多くの発信手段を持っている。

だけど本当に自分の「好き」を発信できているのかな？  
見栄えやいいねの数、周りからの反応を気にして、本当の自分の「好き」を表現できていないかも。

いい意味でも悪い意味でも発信手段がたくさんある。こんな時代だからこそ、  
誰かのためのじゃなく、自分のために、自由に「好き」を形にするZINE。  
自分の「好き」を見つめ直す、そして「好き」を表すにはもうどいのかも。



先端技術を眼目に、こたわりの方法で「コト」を流れ続けている喫茶店。どこか懐かしいような、ふと訪れたくなるような空間。忙しなく通しがちなこの道だけ、こたわりの詰まった「コト」と一緒に、ちよつと一息ついてみませんか？ 選別したとき、知らず知らずのうちに便利なものを選んでしまふことも、ものに溢れた時代、感覚を敏感にすることは難しい。でももし、自分の「好き」をはかる感覚を身につけられたら、もっと豊かで素敵な生活が待っているのかも。

好きを「感性」で見つける



見た目はいつも見るような白、触ってみるとざらっとした感じ。ちょっと気になって、店員さんに聞いてみると、卵の殻からできているんだって。「へー、こんなものからコースターができるんだ。」なんでも、卵の殻は吸水性が良いからコースターにはぴったりだとか。普段捨てられちゃう卵の殻が、こんなにすごい力を持っていたなんて、今まで毎体無いことしてたなあ。

#### たまごの殻のコースター

シャンプーといえば、髪の毛ツヤツヤとさらさらを守ってくれるもの、自分の髪質に合うか、合わないとか、そんな基準で選ぶことが多い。

このシャンプーは、排水溝に流れると、排水まで綺麗にしてくれるんだって。「シャンプーが、排水も綺麗にしてくれる!?」、そんな風に驚いた。

毎日のシャワーで地球も綺麗にしちゃう私って、ちょっとカッコいいかも。

#### 排水が綺麗になるシャンプー



「なんだこれ。」それが最初の印象。お店に並んでいるのは新品ばかりなのに、これだけちょっと使い古されているような…?

もともと素材は、カンボジアでセメントを運ぶために使われていた袋なんだって。こんな愛らしいリュックがセメント袋からできてるなんて。

そんな裏話に心くすぐられて、ついつい手にとってしまう。

#### カンボジアのセメント袋のリュック

## わたしの個性と共鳴する。 わたしだけのお気に入り

ここはとある雑貨屋さん。個性的なものがたくさんあるみたい。

お店の中をふらり、変わったモノたちのなかから、

わたしだけのお気に入りを見つけに行こう。

私のモノの選び方から、知らなかった私らしきも見えてくるかも。

万人ウケはしないモノ。

わたしが目に留めないあのモノは、

誰かの宝物になるかもしれない。



ぬいぐるみを見ると、子どもの頃を思い出す。小さい頃は枕元にぬいぐるみがあったけど、そういえばあのぬいぐるみ、どうしたんだっけ?

このぬいぐるみ、模様や顔をよく見ると、とってもリアルに作られている。大ききもね。見ているうちに、どこか親しみが持てるリアルさに愛着が湧いてきた。最近、ひとりの時間が多くなったし、部屋にあっていいかもなあ。

#### リアルサイズのぬいぐるみ



前のページでご紹介した個性豊かなモノたち。

これらは A.D.NEEL の商品です。

## 「A.D.NEEL」とは

ここは、お台場にある雑貨屋さん「A.D.NEEL」。お店の名前は100歳まで冒険し続けた、フランスの女性冒険家の名前が由来だとか。お台場のおしゃれなショッピングモールの中に違和感なく溶け込んで、それでいて独特の雰囲気を保ち、佇んでいます。

実は、さっき紹介したモノたちは、全部この店の商品なんです。店内に入ると、思わず笑顔になるような可愛いものから、足を止めてまじまじと見てしまうようなちょっと変わったものまで、個性的で愛らしい雑貨が私たちを迎えてくれます。店内を見回してまじまじの目は、たくさんぬいぐるみたち、名前もわからないようなマニアックな

動物もたくさん、細部までリアルに作られたぬいぐるみからは、動物の本来の姿を知ってもらいたい、その魅力に気づいてもらいたい、という作家さんの思いが伝わってきます。他にも、人間の風姿をモチーフにしたアタセサリーに、好物の形をした石鹸、マンモスの毛。なんてものもあるんです。万人クセはしなくても、10人中1人が心からハマるようなものを、そんな思いで集められた品々たちが「あなたらしさ」を引き出すきっかけになってくれるかもしれません。



## 均一化された社会

テレビを見れば、とびきり可愛いモデルさんがおしゃれな服を着て、SNSを開けば、憧れのインスタグラマーがおススメの化粧品を紹介してる。

「私もこんな風になりたい。」

「私もこれ買ってみようかな。」

そう考えるのは、みんな同じ。でも、よく考えてみてほしいんです。写真の中でポーズを取るそのモデルさんに似合う服や靴と、あなたに似合うものは違うかもしれない。あなたの肌の色に合うのは、もっと明るい色かもしれない。

これまで世の中の製品は、「効率」や「価格の安さ」を求めて同じものを大量生産できるように進化してきました。そして大手のブランドが作ったものを皆が着るようになりました。でもみんなが買うモノを追い求めるのではなく、一人一人の“違い”とじっくり向き合って、自分の個性にぴったりのものを探してみませんか？

自分が本当に好きだと見えるものを見つける。これから来るのがどんな時代でも、キラキラ輝くために、自分だけの個性を発見してみませんか？



# わたしのらしさが 見つかる雑貨屋さん



私らしさって何だろう。。。  
そう考えるあなたに、一つの雑貨屋  
さんをご紹介。



「A.D.NEEL」

お台場ヴィーナスフォート店  
東京都江東区お台場1-1-1

百年時代を見据えた働き方。  
これからの時代に大切なコトを考えてみる。

これから必要なコト

終身雇用制度が消えつつあり、AIの普及によってなくなる職業があるかも、なんて言われる現代。でも、逆に労働人口が減って、働き手が職業を選びやすい時代にもなっているのです。だからこそ、自分のやりたい事ややりたきことを実現するために、自分の働く場所を選ぶようになってきました。私たちの理想の姿を自分が働く場所で見られるかどうか、それを想像してみることが大事なかも。ディアーズ・ブレインでは、「楽しくなければ、やったところで知れたもの」という考え方を大切にしているそう。メンバー全員が仕事に夢中になること、そしてメンバーともっと成長を楽しんでいくことを大事にしているんだって。皆さんが夢中になること、そして成した運びたいことはなんですか？



働いているひとたち

百年時代に必要なコトを聞く前に、どんな人たちが働いているのか、聞いてみました。「同質の人たちが集まっているわけではなく、一人一人が自身の信念や軸を持っている。」色んなことに挑戦できる自由な場所だからこそ、みんなありのままの自分を出して、のびのびと働くことができるのかも。働いている人たちの写真を見せてもらったけど、笑顔がすごい素敵だったなあ。



変わらない大切なコト

「私たちの仕事は、人の人生に関わり、価値を感じられる。だからこそ、社員全員がやりがいを持って働いている。」、そう語る栗原さん。日々変わっていく時代の中で変わらないこと、それは「人と関わっていく」ということ。そして、仕事はとりわけ、人と関わり合いの中から生まれてくる。そして、その関わり合いを生む方法が「コミュニケーション」。私たちがどんな時代に生きようとも、その中でコミュニケーションを大事にして、「人と関わり合い」を楽しむ、それが大切なのかも。

Applying to Dears BRAIN

< インタビュウ情報 >

11月に行われるこのインタビューは、代表取締役や、事業本部長など、会社の経営層へプレゼンテーションを行い、フィードバックがもらえるというの。経営者視点からフィードバックをもらうことにより、自分を成長させるいい機会になるのでは？  
この業界に興味がない方も百年時代になにをやるのかを考えるきっかけに参加してみるのがいいかも。  
\*ナビサイトなどでは募集していないケース。インタビューのため、Nono登録時「Haptipia」をチェックしてください。

日程：11月16日(土)～11月17日(日)  
場所：東京都千代田区麹町  
概要：新事業立案プレゼンテーション&経営層とのワークショップ



※読み取り後、MyPageをクリック

百年生きる時代に何をやる？

人生百年時代と言われる今の時代。そんな中、私たちがどんな職業を選んでいくのかは、ものすごく大切。だって、仕事は私たちの限られる時間を多く割くもの一つだから。百年生きる時代にどう働くか。そのヒントを探して株式会社ディアーズ・ブレインさんを訪ねてみました。

4つの「L」とは

人生における役割は、愛 (LOVE)、余暇 (LEISURE)、学習 (LEARNING)、仕事 (LABOR) の「4つのL」に分類できると言われています。人それぞれ、何を大切にしているかは違うけれど、一つ一つを充実させていくことが大事なんだって。今回は、この時代において、「仕事」を充実するためにはどうするかについて、聞いてみました。



話を聞いた人

栗原 園佳

株式会社ディアーズ・ブレイン 人材開発部人材開発グループ主任

人材開発部人材開発グループ主任である栗原園佳さん。ディアーズ・ブレインに入社後、2年目からずっと人材開発部に所属しているそう。

今回は、企業人事の一人として、これからの時代で、大切になってくることは何かを聞いてみました。



株式会社ディアーズ・ブレイン

2001年創業。ウェディング事業を中心に、レストラン、コンサルティングなど多岐に渡って、事業を展開しています。【結婚式】という人生の節目の一瞬を創ることに繋がっていく。経験をしたことがないこと、挑戦には未熟かもしれないと思うことさえも、挑戦することを恐れず、最高のパフォーマンスを発揮することを目指して「OPEN DOORS!!」という企業理念を掲げているそう。



NETFLIXを聞いて知る映画。

あなたのオススメに出てくる映画は、やっぱり私の好みに合うものばかり！だけど、気づけば同じような映画ばかり見ている…なんてことありませんか？そんなあなたに、新しい世界への扉をたいてみてほしい。きっと新たな出会いが待っているはずだから。



これは

アニメ映画が好きな女の子が、

あることをきっかけに

# 知らなかった 好き と出会う

おはなし



## 02

### 選ぶをひろげる



自分の「選ぶ」について考えた。

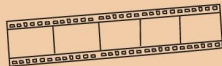
次は、自分の知らない「選ぶ」、誰かの「選ぶ」をのぞいて「選ぶ」をひろげてみよう。



- p.27- 知らなかった好きと出会う
- p.33- あなたとわたしのいただきます
- p.39- わたしと、だれかと、みんなで。
- p.46 選ぶを表す その3
- p.47 選ぶを考える

# 新たな好き と 出会う方法

EXPLORING NEW MOVIES



HOW TO



「カクテルを提供するときに、僕はこういうイメージで（この映画を）見ました。お客さんはどうですか？というところからやっと1つの映画で会話が始まるんです。」  
隣の人が飲んでるのは何のカクテルだろう。なんであのフルーツが飾られているのだろう。映画に推くイメージは替それぞれ。他の人が飲むカクテルから新しい映画に出会うことも。バーテンダーやお客さんとの会話から、オスメの映画を教えてもらうのもアリかも。

カクテルと映画という夢のようなコラボ。注文は、メニューに載っていないものがほとんどだそう。お酒が好きなら、映画が好きなら、このバーを通してきっと新しい発見ができるはず。人工知能による機械的な「オスメ」からは見ることでできなかった新しい世界。家で映画を楽しむのむいけれど、こうやって外に出て、人と会話をし、違う面から映画を楽しむのも。たまにはいいのかも。

チーフバーテンダー  
小川史郎さん



「（映画について）何も知らなくても、こういう味がいいですという要望からカクテルを作って、その映画に興味を持ってもらえたら嬉しいですね。」  
でも、基本的にネタバレはしたくないので、そのカクテルの意味を言わないのが小川さん流。聞かれた時には「映画を観てください」と答えて、お客さん自身が楽しむ会話を与えてくれます。

小川さん自選の一本「ゴツホ 最後の手紙」(2017) 全て曲線で作られた9スリーションの映画。作中にゴツホの絵が登場する。ゴツホが最後に書いた手紙は誰に向けたものなのか、という「ミステリー」のような映画。



## Cocktail BAR

8月の鯨



8月の鯨  
〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町 23-11  
Tel. (03) 3436 7238

併りには、オリジナルのブックレットがもらえます。vol.33まであるので集めてみては？

# 映画バー に行ってみた。

野外シネマで観た『ダーズリン急行』をイメージしたカクテルを飲むバーが、渋谷にあるの噂。他の映画のカクテルも沢山あるみたい。どんなバーなんだろう、行ってみよう。



どんなカクテルが飲めるのかわからない。

### カクテルから楽しむ

映画バー「8月の鯨」、渋谷のセンター街にひっそり隠れたバー。ここではなんと、バーテンダーの方が映画にもなったカクテルを作ってくれるというユニークなバーなんです。映画好きの間では有名なお店ですが、もちろん映画初心者も楽しめます。



『バケモノの子』  
刺の刺さった大きなメロンは、映画を見た人ならわかるはず。あの薬物を表しているそう。3層のカラがとても綺麗でした。

『ダーズリン急行』  
ちょっぴりセクセのある大人の味わいは、映画を観た人なら納得（!?）映画全体をイメージして作られたとのこと。

このカクテルは映画のどこをイメージしたんだろう。



# KUSHI BEACH Film Festival

この前たまたま行ってみた映画祭。  
雰囲気何だかとても素敵で、さっそく「夏子映画祭」にも来てみた。  
でも上映される映画はいつもは観ないジャンルの映画みたい。  
映画が始まるまで少し散策してみよう。



夏子映画祭は夏子に拠点を置く  
クリエイター集団「CINEMA CARAVAN」によって  
毎年作り上げられる人と人を繋ぐプロジェクト。

# SEASIDE CINEMA

# 野外シネマ に行ってみた。

大好きなアニメ映画「げっけいの子」が  
野外シネマで上映されるらしい。  
観に行ってみよう。



夜風に吹かれて観る映画、  
なんだかいいと違うな。



野外シネマの雰囲気に惹かれて、  
また行きたくなっちゃった。  
いつもとは違う映画に何だかワクワク。

## 映画だけじゃない

会場内には、レトロな雰囲気のあるメリーゴーランドやオリジナルジューススタンドが、楽しそうに遊ぶ子供たちや、ジュースを受け取る少女の可愛い笑顔に、癒される。野外シネマは人と人の温かな繋がりも感じられた素敵なお場所だったな。大人も子供も楽しむことができる、そんな場所。



## 映画の世界観に...

この「夏子映画祭」で見た映画は、「ダーリン急行」という洋画。インドの景色や綺麗な街並み、東洋の音楽に包まれば、あっという間に映画の世界に。アニメとはまた違って、リアルな景色の映画は自分も登場人物の1人を感じられた。



素敵な世界観...  
また他の洋画も観てみたいなあ。



## たまには皆で

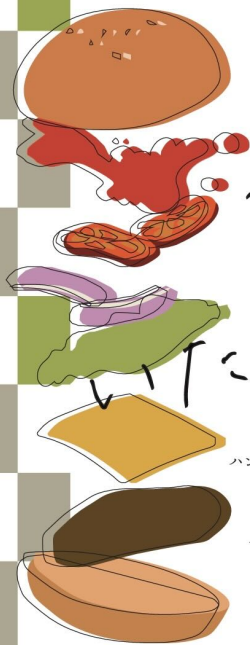
パソコンの前で、一人静かに映画を観る。いつもはそれが普通だけど、なんだか今日は賑やか。外の空気を感じ、開放的な気分で見ていると、いつもより思いつき笑ったり泣いたり...。向こうの方で誰かが泣いている。知らない誰かとも感情を共有できた瞬間。こんなところも野外シネマの魅力。

## フードもドリンクも

小さな屋台がずらりと軒を連ね、そこではドイツのビールに、ソーセージ、ポテト(ドイツのフライドポテト)が売られていた。ビールの種類も豊富。ドイツビールを片手に映画鑑賞。なんて贅沢なんだろう。



野外シネマの魅力って、  
映画を観る以外に  
沢山の楽しみがある。



あなたに  
わたしの  
いただきます。

ある日のランチタイム、  
ハンバーガーショップで並んでいた時のなし。

チーズバーガー？ テリヤキバーガー？

何にしようか悩んじゃう。

やっと次の番が来たと思ったら、前の人が

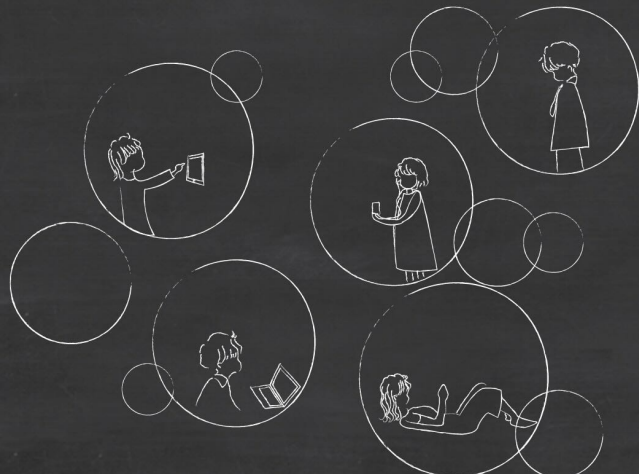
「ハンバーガー、肉抜きで。」

ってオーダーしてる。

え？

ハンバーガー肉抜き？

肉抜きって、どうということだろう。



## “フィルターバブル”

フィルターバブル。

それは、ユーザーの個人情報を学習した人工知能によって、利用者にとって興味関心がありそうな情報ばかりが選択的に提示されるようなネット環境のこと。まるで泡で包まれたように、見たい情報しか見得なくなる。わかりやすい例が「あなたへのおすすめ」や「次の動画」。

好きなものに囲まれてるのはいいこと？

一見便利なこの環境だけど、自分の知らない意見や自分とは違う価値観が見えづらくなってる。

一番怖いのは、このフィルターの存在に気づかないこと。実は知らないうちに、自分の世界が狭くなっているのかも。

そんなとき、一度オフラインに出てみるのはどう？  
簡単に自分の世界に浸ることができちゃう今だからこそ、新しい可能性や選択肢との出会いに挑戦してみては。





### 自分と違う選択をする人

「肉食べなくて大丈夫なの？」

「そんな食生活やめなよ」

はじめは周りからこんな言葉をかけられたことも、それからだんだんと、みんなが理解して協力してくれるようになったみたい。こんなふうに理解が広がれば、きっといろんな食生活の人が楽しく食事できるよね。どうすれば自分と違う選択をする人を受け入れられるのかな。

### 日本ではまだまだ知られてないヴィーガン

友達との食事に出されたパン、卵と牛乳が入ってるから、ほんとに食べられない。それでもせっかくの楽しいひととき、「食べられない」とは言えないんだとか。オーストラリアのカフェでは、ヴィーガン向けのメニューが置かれていることは普通。だからヴィーガンでも気兼ねなく食事ができたんで、日本はまだまだヴィーガンの選択肢が少ないのかも。

### Ballonで聞いてみました

「日本ではまだ馴染みのないヴィーガン。うちはヴィーガンの人だけではなく、ヴィーガンを知らない人にも食べてもらいたいんです。」

Ballonのメニューは、野菜だけで作られているのに、味わいも食感もさまざま。「お客さんが楽しめる工夫をちりばめた一品にしています。美味しいごはんをきっかけに、ヴィーガンを知ってもらえたらうれしいですね。」とBallonの店員さんは語ります。

### オーストラリアで出会ったヴィーガニズム

オーストラリアに住んでいた時、初めて出会ったヴィーガンの人。オーストラリアには日本よりたくさんヴィーガンの人がいるんです。知り合いにどうしてヴィーガンなのか聞いてみると動物愛護の観念でヴィーガンになった場合が多いみたい。他にも、宗教的な理由や、美容への意識もきっかけになるそう。

“いただきます”の気付き

私はヴィーガンじゃない。  
新しい文化だし、ニュースを見ていてもちょっと過激なイメージがあったり、なるほど、ヴィーガンの人たちはたくみに日々感謝して生きているんだ。そういえば、私も“いただきます”って毎日言ってる。食べるものは違っても、ありがたいたくは同じなんだね。ヴィーガンのごはん、食べてみようかな。



とある日本人のつぶやき



BALLON  
中目黒駅 徒歩6分  
東京都目黒区中目黒3-2-19  
03-3712-0087  
11:00-18:00 (不定休)

ふしぎな注文をしていたワケ。

このお客さんはヴィーガンだったんです。ヴィーガンの人たちはどんなきっかけで、どんな食事をしているんだろう？



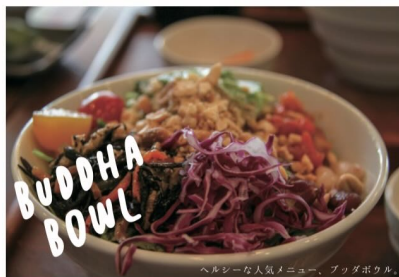
最近見聞きすることも増えた“ヴィーガン”。ちよっと前からある“ベジタリアン”とはどう違うの？と思っている人も多いはず。一般的に、

ベジタリアンは、肉と魚を口にしない人たちのこと。ヴィーガンは、動物性ものを消費しない人たちのことを指すんです。



ヴィーガンの

いただきます



ヘルシーな人気メニュー、ブッダボウル。

### 寺カフェで聞いてみました

「気軽に精進料理を楽しんでもいい」という願いのもと、オーナーの僧侶・山口さんが代官山でオープンした“寺カフェ”。このお店の人気の秘訣は、月イチ開催の坊主バー。僧侶自ら悩める人たちの人生相談に乗ってくれるそう。

今回はこちらを経営する僧侶の山口さん、スタッフの西村さんといっせきさんに取材させていただきました。

### “○○” × 精進料理

最近では伝統的なものだけでなく、より健康的で食べやすい工夫がされているものも。たとえば、植物性のオイルを使ったイタリアン精進料理。チーズ、卵、生クリームや牛乳も使わないので、ヴィーガンでも安心して食べられるそう。これから他の食文化とコラボすることで、精進料理は新しいトレンドに。そうして、私たちの生活の一部になるのかも。

### いただきますの精神

精進料理の基本精神は、材料を無駄にせず、全ての命を生かすこと。そして、大切な生き物の命をいただいていることに感謝すること。皮や葉を残さず調理して使い切るのも、その表れなんです。この精神は「いただきます」の言葉にのせて、今の食卓にも受け継がれています。

### はじめは「ずつと」前から

日本では永平寺を開いた道元の教訓をもとに誕生したそう。お坊さんが修行用に自分で作って食べていたんだって。それから長い年月を経て、日本の風土や材料を生かした工夫が加えられていきました。今では健康のために精進料理を食べている人もいます。

### “いただきます”の気づき

遠い存在だと思っていた精進料理。

食事の前の「いただきます」なんて聞いたことなかった。

でもヴィーガンの私も、動物の命を大切に思って食べるものを選んで。精進料理も、大事にしていることは同じなんだね。なんだか親近感わいてきたな。

今日のごはんは「いただきます」って言ってみようって。

とあるヴィーガン女性のつぶやき



寺カフェ 代官山  
代官山駅 徒歩2分  
東京都渋谷区恵比寿西1-33-15 EN代官山ビル1F  
03-6455-3276  
11:00~22:00(無休)



“日本版ヴィーガン”  
そう聞くと新ジャンルの料理のようですが、  
実はこれ、日本で古くから食べられています。  
さて、どんな料理でしょう？

精進料理とは、もともと禅宗の僧が食べる、一汁一菜の食事のこと。肉や魚を避けるだけでなく、仏教の教えである不殺生成の心、つまり生かす心に目覚めることも含めて「精進」と呼ばれているんだって。今では禅宗だけでなく、いろいろな宗派の精進料理があるみたい。



精進料理の

いただきます



肉抜きハンバーガー？ そんなの美味しいのかな？  
たまたま耳にするまでよく知らなかった、ヴィーガンのこと。  
疑問や勝手なイメージで、無意識に遠ざけていたのかも。  
でも、カフェでのひとくちをきっかけに、ちょっとずつ親近感が湧いてきた。  
想像していたより食べやすく、とっても美味しかった。  
食べてみたら、もっと知りたくなった。そして見つけた、日本との意外なつながり。  
精進料理の「いただくものに感謝する心」は、ヴィーガンでも大切にされている。  
縁がないように見えたふたつの食文化は、「いただきます」の気持ちでつながっていたんだね。  
小さいころから教えられてきたこの言葉は、わたしと未知のものをむすぶ合言葉だった。  
知らないものとの出会いは、これからも続いていく。  
はじめは不安で、戸惑うこともあるのかな。  
そんなとき、ほんのちいさなきっかけが変えてくれるはず。  
いろんな「あなた」と、わたしの合言葉。  
今度はなにが見つかるんだろう。



ごちそうさま。



# 「いいもの」の「いいもの」

「いいもの」感じて選んだお気に入りに入りアイテム、好きなものを使っているときって、なんだかワクワク、誰かにあげたいな、なんてことを考えるかも。あなたの嬉しい気持ちの向こうで、他のだれかも同じ気持ちでいられたら、作った人や贈る相手に、ちよっとした幸せのおすそわけができるものたちを二紹介。

「デザインス」つなぐカ」

2020年までの1年間にわたって実施される「いいもの」なごの展覧会」。今年はタンブラーを販売。東京オリビック、パラソルビックに向けて、観戦席に持つにしているようならまし



## Charity Art Tumbler

得意なことで誰かを応援できるのが「つながりの展覧会」ならはの良。タンブラーを贈る「アーティストやデザイナー」だけでなく、製品化にあたって印刷会社のコスト削減努力など、さまざまな人の協力があって実現した。また作品が採用されたアーティストからは「作品を通してコミュニケーションがしやすくなった」という声も。作品は若くは自分の生きた証、それが用紙製品化されて「こんなものを作ってます」と見せながら話しやすくなったのだとか。

「チャリティアート」タンブラーは、製造工程をアーティストへの作品使用料以外の売上が、オリビックへの寄付に用いられます。しかも、タンブラーを使えばゴミが出ないから環境保護にもつながる。アーティストはパラソルビック、そして地球にも優しいお買い物になるんです。好きな人のプレゼントに選べば、またのいつながらが作られるはず。

現在、東京ミッドタウンのアサインハブを皮切りに全国を巡回展・販売中。一部のアーティストは全国のタリ！エコヒでも取り扱っています。



Charity Art Tumbler  
web <https://www.jagda.or.jp/information/jagda/3565>

「幸せを感じる」バラ

生命力に満ち溢れた、ケニアのバラ。持ちが良く、丁寧に世話すればなんと1ヶ月間もつこと。そんなバラはケニアの人々の力強さをも表しているのかも。



## Afrika Rose

生命力に満ち溢れた、力強いケニアのバラ。AFRIKA ROSEでは、最高品質のバラを世界各地へ届けています。

このビジネス、元々は創設者である藤生田さんが本邦でケニアでケニアが行ったことがきっかけだったんだとか。親類の人々が援助している現状に疑問を抱く中、藤生田さんはナイロビのお花屋さんで美しいバラを出会い、その大きき、鮮やかさ、力強さ、そして何よりケニアの人々がそのバラを誇りに思う姿に感動。「無し、施される関係ではなく、作り手が胸を張る商品を手掛ける」ビジネスを始めることになったのだとか。

「フェアトレード商品だから」といって品質を目をつぶって買ってもらうんじゃないかと、「このバラも敵だ、誰かに贈りたいな」と思っ買ってほしい。それが結果的に届くまで大切に育てられていると知らず、なんだかもとらしくうれしくなるかも。



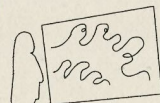
Afrika Rose

- [広尾本店]
- 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 5-18-8
- TEL 03 6450 3339
- 営業時間 11:00~20:00
- [六本木ヒルズ店]
- 〒106-6108 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ 森タワー ヒルサイド B2F
- TEL 03-6434-7144
- 営業時間 11:00~21:00

# 対話型アート

鑑賞中はおしゃべりしましょう

「対話型アート鑑賞」とは、少人数のグループで同じ作品を見て、気づいたことや感じたことと話しながら楽しむ美術鑑賞。絵の解釈などの説明はなく、「あなたならどんなタイトルをつけますか」と司会が投げかけるヒントをもとに自由に考え、言葉にしていきます。実際に体験してみました。

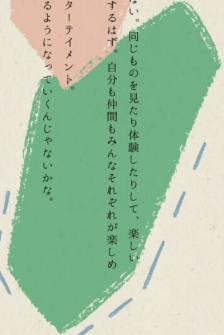


「同じ絵なのに、違う見え方。話してやると、新しい発見がいっぱい!」



ワタワタするのは「モノ」にだけじゃない。同じものを見たり体験したりして、楽しい時間共有する「コト」だってワタワタするはず。自分も仲間もみんなそれぞれが楽しめる遊び方があったらいいな。

どんどん出てくる、斬新で個性的なエンターテインメント。これからはみんなが、好きなものを選ぶようになっていくんじゃないかな。



自由に見る、自由に表す

参加者は性別・年齢もさまざま。中には早い子や感覚障害のある人も、みんな楽しめるよう、手書きの説明などサポートの工夫をしています。

作品ごとに参加者に投げかけられる、さまざまな質問やお題や歌々の中でも自由に印象的だったのは、「言葉だけで伝える」というのも。グループの一人だけが絵を見て、どんな絵なのかを他のメンバーに言葉だけで説明します。説明をもとに、なんとなく頭の中で想像。そのあと絵を見てびっくり、思い描いていたものとは全く違ったんです。「驚かさない形」のように、個人の主観が入った表現では伝わりにくいんだそう。たしかに人によって思い浮かぶものは違うと思うけど、普段自分が説明すると、ちゃんとわかるように伝えられているのかな? ちょっとびりびりキツくなるような質問でした。

これからの美術館は「目」だけでなく聴きもところやない、誰かがコミュニケーションを取りながらお互いの自由な発想を委ねるものと面白くなるんじゃないかそう。

# ゆるスポーツ



「ゆるスポーツ」って?

「スポーツ観者をなくす」というコンセプトのもと、年齢・性別・運動神経に関わらずだれもが楽しめる斬新なスポーツを作っている。世界ゆるなスポーツ協会。なんで「ゆる」なの? と気になることがチラホラ、いろいろお話も、担当の萩原さんに伺っていました。

ゆるスポーツができたわけ

きっかけは仕事、動画サイトでもた「ダブルサツカ」を日本に持ち込みたいとき。普段スポーツをしない人もコートに来て遊んでくれるのを見て、より多くの人がスポーツを楽しめるようになればと、この協会を立ち上げたそう。

それ以降、人それぞれ自分に合ったものが楽しめる。「オールド」のスポーツをたくさん生み出しています。

「友達事」で広がる世界

ゆるスポーツによって、萩原さん自身にも変化があったそう。新種目を作る中でパラビートと仲良くなり、術中もよく「うううう」困るだろな」とその人が浮かぶようになったんだか、他人事でもなく自分事でなく「友達事」として理解して、もっとも気にかかれるようになると、世界の見える方も自分の行動も変わるみたい。

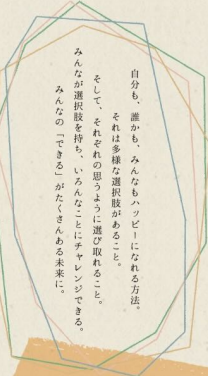
# みんなに「ゆる」を

「ゆる」が社会を救う?

「自分たちが楽しむだけでなく、もっと多くの人に楽しんでもらいたいです」

「ゆる」スポーツは、運営側の萩原さんたち自身も無理しないことがポイント。「こうすれば多くの人を楽しませることができる」が楽しくも「ゆる」くないです。人が動くいちばん簡単な原理は、楽しいかどうかだから。そんな柔軟な心をもって作られたゆるスポーツの数は、それはすべて社会課題の解決につながるんです。社会課題の中には、「会社に行きたくないな」「お風呂に近くないな」、どんな悩みも課題も、面白さのエッセンスを加えて、楽しんで取り組むなら、解決の輪が広がっていくんじゃないかな」と萩原さん。あなたの身近な悩みだって、「ゆる」が解決のヒントになるかも。

悩みを課題、面白さのエッセンスで解決



自分も、誰かも、みんなもハッピーになれる方法。それは多様な選択があること。そして、それを思うように選択できること。みんなが選択を持ち、みんなとつながることで、みんなの「できごと」がたくさんある未来に。

ゆるスポーツ  
web <https://yurusports.com/>

対話型アート  
web <https://fukufukuplus.jp/about/>



22歳  
選ぶことを考える



届いた封筒を開くと10年前の私からだった。

「大切なヒトを大事にできていますか？」

誰と何をするのか。

私の選択は、私の意思で決定される。

私の選択は、周りに影響を及ぼす。

そこには自由と責任がある。

「大切なコトを丁寧にできていますか？」

何をどんな風にするのか。

時代は、有無を言わず変わっていく。

時代は、ときにヒトの行動を変えてしまう。

その流れは、立ち止まって考える隙を与えない。

時空を超えたメッセージに、

ふと気づかされる。

忘れてはいけないものは、ずっとそこにあった。

また、10年後のわたしに手紙を書くころ、そう思って便箋を取り出した。

22歳  
選ぶことを表す

「ただいま」

扉を開けると、いつもと同じ光景が広がっていた。

同じ部屋に、同じ寢床。

そんな代わり映えのない私たちの日々。

“アドレスホッパー”

それは新しい生き方。

彼らは毎日違う扉を開けている。

目を覚ますベットも、会社に行く道も違う。

今日はどうやって家に帰ろうか。

二近所さんはどんな人かな。

毎日が新鮮でワクワクに満ちた、彼らなりの生き方。

それは僕たちに何を伝えようとしているのだろうか。

～Magadipitaの新たな挑戦～

「アドレスホッパーって？」



雑誌を居場所に発信を続けてきた

Magadipita。

時代が変わるにつれ、

伝えたいことも伝える方法も

変わっていきます。

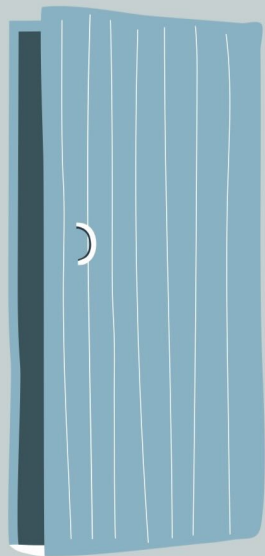
だからこそ。

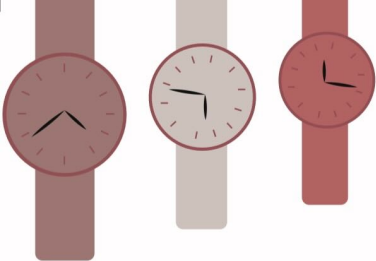
Magadipitaは、新しい伝え方として

Webページを選びました。

アドレスホッパーのように

ひとつ、居場所を増やしたのです。





## CREDIT

Editor in Chief	Yune Tonai
Associate Editor	Rin Ikegami
Creative designers	Mayo Nakano      Ririko Ikeda
Writers	Sayako Yamamoto      Yui Mikami
Press	Kazuma Suzuki      Tempei Kobayashi Ruka Ohno      Yukina Mitsuhashi Tae Kashima      Yuri ono
Editorial designers	Ayuna Fujita      Narumi Kuroda Marii Kawakami      Riko Ohkawara Mina Hashimoto      Risa Takahashi Mizuto Yokoyama      Tae Shibahara Momoko Mine
Web director	Hanako Ishiwata

Publisher

豊電義塾大学  
公認学生団体 **S.A.L.**

Sponsors



## Editor's note

帰り道。

いつもの景色と何かが違って立ち止まる。

あれ、こんなお店あったっけ？

幼い頃から住んでいるこの街も、最近ちよっとずつ変わっている。

暇さえあれば立ち読みしていたあの本屋さんも、看板がなくなっていた。

それも、気づかないうちに。

そういえば昔は、

この小さな街さえも私にとっては大きな世界だった。

どこに行こうか。

何を見ようか。

どう過ごそうか。

ありあまる時間の中で、

行ったり来たりしながら、自分の新しい“好き”に出会い、心躍る毎日。

何も知らなかったあの頃の感覚を、今でも時折思い出すことがある。

ちよっとゆっくり顔を上げて歩く日に、素敵なお店を見つけたり。

なんとなく過ごす毎日にも、

新しい“好き”に出会うためのドアはいくつもあるのだ。

あの子が通った道を進むのもいいけれど、

いつもの道で帰るのもいいけれど、

ときには新しい道を見つけられることがあってもいい。

わかれ道は、選択のチャンスである。

あの頃から目まぐるしく変わる景色を見つめて、

次の一步をどうするか考える。

踏み出した道の先で、思いがけない出会いに気づくために。

まずはこの一冊から。

あなたも serendipity に出会えたら。

